

富山県 氷見（ひみ）地区 豪雨災害

8月26日から27日にかけて大雨が降り続いた県内。氷見市には、一時、県内で初めて「レベル5大雨特別警報」が発表され、市内全域の約4万人に「緊急安全確保」が発令されました。土砂崩れ、河川の増水氾濫、住宅の浸水被害、車の水没が多数確認されたとの報道がありました。

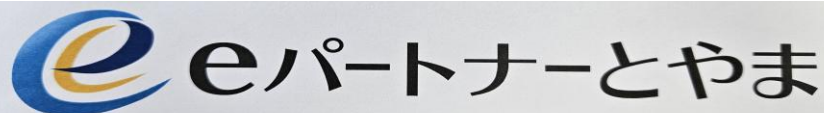
こんな時は無理せず、先に送れる配送は後日に延ばし、出勤回避、途中帰社、遠回り、等の対応により必要最小限の配送を行い安定供給と身の安全の両立を図りました。当地区担当の配送マンも「町の景色がいつ



川ではなく道路です

もと全く違っていた」と漏らしておりました。その他、社員自宅の床下浸水が1件発生。

能登半島地震から2年8か月、被災者への調査では「復興実感は未だ半数」だそうです。その後も再び地震、複数の大規模水害と続いておりますが、安全確保を最優先に、お客様にLPガスのある暮らしを届けて参ります。



困難に負けず今日も配送に出かけます。お客様に笑顔をお届けするために。